

## 第 31 節 眼科研修〔選択科向け研修〕

### 一般目標

- ① 眼科臨床に必要な眼の構造、生理、薬理などの基礎知識を習得する。
- ② 眼科診断技術および検査に関する基礎知識を習得する。
- ③ 眼科の主要な疾患に関する知識を習得する。
- ④ 眼科の基本的治療法について理解する。

### 具体的目標

#### 1. 眼球の構造

- ① 眼球および眼球付属器の解剖・構造を説明できる。
- ② 眼球の主要組織の機能・生理を説明できる。

#### 2. 診断

- ① 視力検査の方法・記載方法・意味を述べることができる。
- ② 眼圧測定の方法・正常値・意義を説明できる。
- ③ 細隙灯顕微鏡を操作し、主な前眼部所見を述べることができる。
- ④ 眼底検査の方法を理解し、主な異常所見を述べることができる。
- ⑤ 視野検査の方法・種類・意義・主な異常所見を述べることができる。
- ⑥ 蛍光眼底検査の方法・正常所見・異常所見を述べることができる。
- ⑦ 眼鏡・コンタクトレンズ処方の方法について述べるができる。

#### 3. 疾患

- ① 屈折異常(近視・遠視・乱視)、老視について説明できる。
- ② 主な角結膜炎の症状・病態・治療について説明できる。
- ③ 白内障の症状・診断・治療について説明できる。
- ④ 緑内障の症状・診断・治療について説明できる。
- ⑤ 主な眼底病変(網膜剥離、網膜静脈閉塞症、黄斑変性など)の症状・診断・治療について説明できる。
- ⑥ 眼疾患に関わる主な全身疾患(糖尿病、高血圧、腎疾患、アトピー性皮膚炎、膠原病、血液疾患など)と眼合併症について説明できる。

#### 4. 治療

- ① 眼科治療に使われる主な点眼・眼軟膏・内服薬の種類・適応疾患・投与方法について説明できる。
- ② レーザー治療(網膜光凝固、虹彩光凝固、後発白内障切開術)について説明できる。
- ③ 結膜下注射・テノン嚢下注射の方法・適応疾患について説明できる。
- ④ 主な麻酔方法(点眼、結膜下、テノン嚢、球後など)について説明できる。

- ⑤ 白内障手術の方法について説明できる。
- ⑥ その他の主な手術（網膜剥離手術、硝子体手術、緑内障手術、眼瞼手術など）について説明できる。

### 実臨床研修

- ① 指導医の外来を見学し、必要に応じて診察を行い、疑問点があれば解決する。
- ② 指導医の手術の助手を行い、その手順を把握するとともに、解剖学的特徴を理解する。
- ③ 初歩的な手術手技を取得する。

### 初期救急対応、当直対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

当直は、指導医の指導の下に、外来や病棟での救急対応を行う。

### 研修評価

- ① 上級医との討論での疾患および所見の理解度の評価
- ② 手術手技の評価

### ■眼科 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	外来	外来	外来	外来	外来		
午後	手術	手術	手術	手術	外来		